

事業番号	06 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課	
		実施期間	S43 ～	E-mail	mizutaiiki @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・大気環境については、光化学オキシダント(Ox)を除き、環境基準及び指針値を達成している。また、有害大気汚染物質・ダイオキシン類についても、環境基準及び指針値を達成している。
- ・解体工事等に伴う石綿飛散防止対策の一層の強化を図るため、体制の整備や事業者への周知の徹底が必要である。
- ・北陸新幹線鉄道騒音については、環境基準が未達成の地点があり、事業者及び関係省庁への働きかけを継続する必要がある。

2 事業目的

大気の汚染状況の常時監視及び工場・事業場などへの立入検査により、良好な大気環境の保全を図るとともに、騒音・振動・悪臭対策を講じて、県民の健康に及ぼす影響を未然に防ぐ。

3 事業目的を達成するための取組

①大気常時監視の運営

- ・大気汚染の状況を常時監視する機器の整備
- ・測定結果の公表
- ・大気汚染物質高濃度時の注意報等の発令及び濃度変動メカニズムの解析



大気環境測定車による大気測定

②排出源監視指導体制の強化

- ・特定粉じん排出等作業監視指導体制の強化
(職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会受講等)

③北陸新幹線鉄道騒音の改善

- ・騒音の測定、環境基準の達成状況の確認
- ・事業者への騒音対策を要請
- ・関係省庁へ施設改良の実現に向けた制度整備を要望

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	昼間の光化学オキシダントの環境基準達成率	%	96.2	97.0	↗	96.1	↘	96.5	未達成	達成状況を100%にすることは困難なため、現状直近3年間の平均を維持することを目標とする。	
②	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
③	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進	大気環境基準達成率(光化学オキシダントを除く)	%	2022 (R4)	100	2023 (R5)	100	2024 (R6)	100	2027 (R9)	100

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	87,896	△ 5,866	82,030	67,399	76,036	23.0
R5年度	0	79,852	△ 4,205	75,647	63,018	69,541	27.0
R4年度	0	76,464	△ 1,900	74,564	59,040	70,933	27.0

事業番号	06 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	大気汚染防止対策等事業費		部局	環境部	課・室	水大気環境課

7 主な取組実績と成果

①大気常時監視の運営

- ・大気汚染の常時監視を適切に実施し、環境基準の達成状況を評価するため、老朽化した大気常時監視測定機器（微小粒子状物質及び窒素酸化物）及び気象測器（風向・風速、気温、湿度、日射量、紫外線量、放射収支量）を更新整備した。
- ・県下各地に設置した大気常時監視測定機器及び気象測器の測定結果を大気常時監視オンラインシステムにより収集し、1時間ごとに速報値としてホームページで公表した。
- ・大気汚染物質高濃度時の注意報等を発令する事象はなかった。また、国立環境研究所と地方環境研究所の共同研究に参加し、光化学オキシダント濃度の変動と気象状況との関係解明等に協力した。

②排出源監視指導体制の強化

- ・建築物の解体工事等に伴う特定粉じん排出等作業に係る立入検査を、作業届出対象外の一部作業まで拡大して実施した。
- ・職員の一般建築物石綿含有建材調査者講習会の受講（1回、3人）等により、建築物の所有者等に対し、石綿含有建材に関する知識の普及に努めた。

③北陸新幹線鉄道騒音の改善

- ・新幹線鉄道騒音に係る環境基準の達成状況を評価するため、沿線14地点で騒音測定を実施した。
- ・環境基準を超過した地点があり、かつ前年度に比べ騒音評価値が増大している地点が多かったことから、事業者に対し騒音の増大の原因究明を含めて騒音対策を要請するとともに、関係省庁に対しても要請した。
- ・北陸新幹線鉄道騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域について、周辺地域の土地利用状況の変化に応じた定期的な（概ね5年ごと）指定見直しを実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	①	昼間の光化学オキシダントの環境基準達成率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
大気常時監視や工場・事業場への立入検査を1,299件実施したが、春季の気象的な要因などにより目標値を達成しなかった。								
指標	②	指標なし	R5年度推移	-	R6年度推移	-	達成状況	—
—								
指標	③	指標なし	R5年度推移	-	R6年度推移	-	達成状況	—
—								

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・新幹線鉄道騒音に係る環境基準については、基準を達成していない地域において、事業者による効果的な対策が進んでいない。また、新幹線鉄道沿線地域で土地利用対策（鉄道騒音による著しい騒音が及ぶ地域での新たな市街化抑制等）がほとんど進捗していない。

(2) 事業改善の方策

- ・大気常時監視や、工場・事業場及び解体作業現場等の立入検査を実施する。
- ・新幹線騒音測定を引き続き実施し、事業者への騒音対策及び関係省庁へ事業者に対策を講ずるよう要請していく。また、新幹線鉄道沿線市町に対して沿線地域の適切な土地利用に配慮するよう求めていく。

事業名	大気汚染防止対策等事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課
-----	--------------	----	-----	-----	--------

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
1	環境保全活動等推進事業費	0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	公害紛争処理調停委員会の運営	直接	公害紛争を迅速かつ適正に解決するため、公害紛争処理調停委員会を運営 案件0件	

細事業No.	細事業名	R4年度決算額	R5年度決算額	R6年度決算額
2	大気汚染防止対策事業費	62,390 千円	59,626 千円	61,624 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	排出源監視指導事業（大気）	直接委託	工場・事業場から排出されるばい煙や揮発性有機化合物等の基準適合状況等の調査 立入検査1,299件	
2	大気常時監視事業	直接	大気常時監視機器及びオンラインシステムによる大気汚染状況の常時監視 一般環境大気測定局12局、自動車排ガス測定局2局、移動局3局	
3	大気常時監視事業	委託	安定的な大気環境観測体制を維持するため、大気常時監視測定機器の保守点検を委託して実施 保守点検台数58台	
4	有害大気汚染物質監視事業	直接	有害大気汚染物質の大気環境中の濃度実態及び経年変化傾向の把握のための大気測定 3箇所	
5	酸性雨対策事業	直接	降水の実態把握や大気汚染物質の長距離輸送の機構を解明するための降水中成分等の観測 4箇所	
6	酸性雨対策事業	委託	国設酸性雨測定所の安定的な観測体制維持のため、機器保守点検を委託して実施 保守点検台数2台	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	騒音・振動・悪臭対策事業費	1,735 千円	2,413 千円	6,824 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	北陸新幹線騒音・振動対策事業	直接 委託	新幹線鉄道騒音の測定（直接）、新幹線騒音に係る環境基準類型指定見直し（委託） 新幹線鉄道騒音の測定：8市町、14箇所	
2	自動車騒音常時監視事業	直接	自動車騒音の対象区間の確認（道路状況の把握及び騒音測定に適した地点の選定） 3町村、14区間	
3	自動車騒音常時監視事業	委託	騒音測定及び面的評価を委託 3町村、14区間	
4	悪臭対策事業	直接	市町村担当者向け講習会を開催 年1回開催	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	化学物質対策事業費	6,808 千円	7,502 千円	7,588 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ダイオキシン類対策事業	委託	ダイオキシン類常時監視等を委託して実施 一般環境調査 14地点	
2	化学物質環境実態調査業務	直接	PRTR制度の周知と届出の促進 化学物質の分析方法の検討、環境実態調査の実施 PRTR届出件数1,075件（長野市及び松本市含む） 分析法開発 1件、初期環境調査 3件、詳細環境調査 3件、モニタリング調査 3件	